

基本目標1	環境意識の向上 － 環境について考え行動する人づくりを進めるまち －
-------	---------------------------------------

基本方針1.1	環境学習・環境教育の推進	
施策	主な取組み	実施した主な内容
環境学習・環境教育の推進	① 学校における環境学習・環境教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童版「羽島市の環境」を作成し、市内小学校・義務教育学校全9校にタブレット経由にて配布した。中央小学校より依頼を受け職員を派遣し、環境学習(参加児童数140人)を実施した。 ● 総合的な学習の時間を中心に講師を招いて環境保全の話聞く等、課題追究学習に取り組んだ。 ● 市内4小中学校・1義務教育学校・市立図書館にてイタセンパラの飼育展示を実施した。 ● 市内1小学校・1義務教育学校の田植・稲刈等農業体験実施のサポートを行い、子供達に農業に触れ合う機会を提供した。
	② 地域における環境学習・環境教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境学習として夏休み期間に「親子で学ぶソーラーライト工作教室」(参加親子29組)を実施し、ソーラーライト・LED等環境に関する興味・関心を深めることができた。 ● 「環境にやさしい生活を」をテーマに自分ごとセミナー(参加者21人)を実施し、環境意識の向上に努めた。

基本方針1.2	環境保全活動の推進	
施策	主な取組み	実施した主な内容
環境保全活動の推進	① 市民等の参画・協働による環境保全活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路等の公共施設の地域清掃活動で集めたごみを無料で回収する等の支援を実施した。 ● 市民の清掃活動に対して軍手やごみ袋等を提供する支援を実施し、環境に対する市民意識の高揚を図った。

基本方針1.2	環境保全活動の推進	
施策	主な取組み	実施した主な内容
環境保全活動の推進	② 人材の確保	●岐阜県が清流の国ぎふ環境教育推進事業にて実施している環境保全の普及啓発を目的に就任された環境教育推進員の活用を視野に情報収集を実施した。
		●岐阜県地球温暖化防止活動推進センターが実施している温暖化など各テーマに合わせた講師派遣の各取組み・活用を視野に情報収集を実施した。

基本方針1.3	環境情報の発信	
施策	主な取組み	実施した主な内容
環境に対する理解・関心度の向上	① 幅広い環境情報の提供	●「羽島市の環境（令和3年）」を3月末に作成し、市ホームページに公表した。
		●環境月間（6月）・野焼き禁止等の啓発・家庭系ごみ有料化等の情報を市ホームページ・広報紙及びLINE等のSNSを活用して情報を提供した。 ●児童の環境に対する理解を深めるため、市ホームページに児童版「羽島市の環境」を公表した。

目標指標	現状値 (2019年度)	報告値 (2022. 3. 31現在)	目標値 (2025年度)
市内小中学校・義務教育学校での環境教育の実施	教科指導や総合的な学習の時間の中で実施	目標値の学習内容を13校で実施 (市内全小中学校・義務教育学校)	調べ学習や体験的な学習等を取り入れた環境学習の実施
アダプトプログラム登録数	6件	13件	10件以上
市ホームページ（環境サイト）アクセス数	36,012回	75,073回	39,600回以上

羽島市環境基本計画進捗状況（令和4年3月31日現在）

基本目標2	快適な生活環境 － 安全・安心な暮らしを実感するまち －
-------	---------------------------------

基本方針2.1	快適な生活環境の保全	
施策	主な取組み	実施した主な内容
大気・騒音環境等の保全	① 良好な大気・騒音環境等の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●大気の常時監視や、新幹線騒音監視調査等各種環境調査を実施し、市ホームページ等に情報を公開した（一般環境騒音3か所、新幹線騒音2か所）。自動車騒音2路線の調査を実施した。 ●事業者に対して市ホームページに届出様式、対象施設等を公表し、法令順守及びその啓発を実施した。
水環境の保全	① 良好な水環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●公共用水域における定期的な水質検査を岐阜県等関係機関と連携して実施し、市ホームページ等に情報を公開した。 ●市民から問い合わせのあった水路汚濁事案の中で、特定施設設置工場が原因の可能性のあるものについては、岐阜県に報告し、連携した（水質汚濁調査事案10件、内、県報告事案6件）。
	② 生活排水処理の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ●下水道整備を進め、供用開始区域の拡大を図った。 ●長寿命化総合計画に基づき環境プラントの維持補修を実施した。し尿、浄化槽汚泥を33,024kl 処理した。 ●羽島市公共下水道ストックマネジメント計画に基づく施設改築事業を推進した。 ●下水道区域等一部エリアを除き、合併処理浄化槽の設置をする際の補助金を設け、生活環境の保全に努めた（補助金申請件数79件）。
公害に関する対応	① 公害等通報事案への適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ●現場確認を行い、行為者に対して法令に基づいた指導等を実施した（野焼き67件、騒音・振動6件、悪臭6件、その他63件）。

基本方針2.2	安全・安心なまちづくりの推進	
施策	主な取組み	実施した主な内容
快適な住環境の形成	① 環境美化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●市民から問い合わせのあった事案等について現場確認を行い、指導が必要と判断した事案について、土地所有者等に必要な指導等を実施した（雑草繁茂259件）。 ●希望する自治会に対し、環境美化看板を支給した（支給枚数98枚）。 ●市道修繕活動を行った32自治会に対し、報奨金の支払いを実施した。
	② 良好な景観形成	●一定規模以上の開発・建築行為について景観基準への適合を確認した。
	③ 緑化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●国営木曾三川公園「桜堤サブセンター」堤内地の早期整備に向け、国土交通省中部地方整備局、木曾川上流河川事務所、国土交通省本省および財務省本省へ要望活動を実施した。 ●旧北部学校給食センターの解体によって生み出された用地に公園を整備し、4月1日に都市公園として供用開始した。
	④ 空き家の適切な管理	●空き家対策セミナーを開催する等、NPO法人岐阜空き家・相続共生ネットとの連携を図りながら空き家対策を実施した。

目標指標	現状値 (2019年度)	報告値 (2022. 3. 31現在)	目標値 (2025年度)
下水道供用開始区域面積割合	66.8%	68.7%	78.0%以上
生活排水処理率	64.9%	67.3%	71.4%以上
桑原川のBOD（生物化学的酸素要求量）の年間観測データの75%値	5mg/L以下	5mg/L以下	5mg/L以下
騒音に係る環境基準（住居地域）	A・B地域：55dB以下、C地域：60dB以下	A・B地域：55dB以下、C地域：60dB以下	A・B地域：55dB以下、C地域：60dB以下
市民一人当たりの都市公園面積	7.55㎡/人	7.66㎡/人	7.65㎡/人以上
特定空家等が改善もしくは撤去に至った件数（累計）	3件	6件	9件以上

羽島市環境基本計画進捗状況（令和4年3月31日現在）

基本目標3	循環型社会の形成 － 環境にやさしい持続的に発展するまち －
-------	-----------------------------------

基本方針3.1	5R運動(リデュース・リユース・リサイクル・リフュース・リペア)の推進	
施策	主な取組み	実施した主な内容
ごみの減量化	① 食品ロスの削減	<ul style="list-style-type: none"> ●食品ロス削減月間である10月に広報はしまを通じて啓発を実施した。 ●「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」に参加し、他自治体等の取組みの把握に努めた。
	② 家庭系ごみの有料化の実施	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年10月から家庭から出る「燃やせるごみ」、「燃やせないごみ」、「その他プラスチック（袋に入らないもの）」、「木製品・布団類」について有料化を実施した（可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ）。
ごみの資源化	① プラスチックごみの資源化推進	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続きプラスチックごみの分別回収及び再資源化を実施した。
	② 資源物ストックヤードの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭系ごみの有料化に伴い、不燃ごみの受け入れを開始するとともに搬入日を増やし、利便性の向上を図った。 ●広報はしま8月号に資源物ストックヤードの利用方法を掲載し、施設の利用促進を図った。
	③ 緑ごみの回収・資源化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●これまでの土曜日だけの受け入れから、平日の受け入れ態勢を整備し、利便性の向上を図った。
	④ 使用済小型家電の資源化推進	<ul style="list-style-type: none"> ●市役所本庁舎及び資源物ストックヤードで使用済小型家電の拠点回収を行った。
	⑤ 廃食用油の回収・資源化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●48自治会73か所において年4回廃食用油の回収を実施した（回収実績620ℓ）。

基本方針3.2	廃棄物の適正処理の推進	
施策	主な取組み	実施した主な内容
適正処理等の推進	① 次期ごみ処理施設整備事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●岐阜羽島衛生施設組合を中心に事業者の選定手続きを進めた。同組合は1月に実施方針と要求水準書(案)を公表した。 ●広報はしま2月号にこれまでの進捗状況の情報提供を実施した。

基本方針3.2	廃棄物の適正処理の推進	
施策	主な取組み	実施した主な内容
適正処理等の推進	② 資源物持ち去り行為の対策の推進	●資源物持ち去り行為の監視パトロールを実施した。
	③ 不法投棄対策の強化	●自治会による集積所への監視カメラ設置の補助を実施した（補助件数4件）。
		●通報等に基づき、市内の不法投棄の回収・処理を実施した。
	④ 高齢者等ごみ出しサポートの検討	●高齢者のみ等の世帯に対し、粗大ごみの収集運搬費の助成を実施した（助成件数13件）。
	⑤ 災害廃棄物への対策	●12月に民間事業者（大栄環境株）と「災害廃棄物等の処理に関する基本協定」を締結した。
広報・啓発	① ごみ処理費用及びごみ処理方法の周知	●家庭系ごみ有料化前の9月までに「ごみの出し方ハンドブック」の全面改訂を行い全戸配布を実施した。
	② 分別方法のわかりやすい情報提供	●家庭系ごみ有料化前の9月までにスマートフォン向けのごみ分別アプリ「さんあ〜る」の利用を開始した。
	③ ごみに関する学習機会の提供	●出前講座やごみ有料化の住民説明会を開催し、市民がごみについて考える機会を提供した（出前講座含む説明会91回開催・参加者2,226人）。 ●小熊小学校より依頼を受け、「ごみと資源物」を題材に環境学習を実施した。

目標指標	現状値 (2019年度)	報告値 (2022. 3. 31現在)	目標値 (2025年度)
市民一人1日当たりの家庭系ごみ排出量（可燃ごみ）	419.9g/人・日	435g/人・日	405.2g/人・日以下
不法投棄発生件数（市有地）	165件	220件	165件以下

羽島市環境基本計画進捗状況（令和4年3月31日現在）

基本目標4	自然との共生 － 自然を守り共生するまち －
-------	---------------------------

基本方針4.1	自然環境の保全	
施策	主な取組み	実施した主な内容
身近な自然環境の保全	① 農地の保全と管理	<ul style="list-style-type: none"> ●耕作できなくなった農地所有者からの相談に対応し、農地中間管理機構の活用を働きかけ、遊休農地発生防止に努めた。 ●多面的機能の活動団体組織11団体による農地維持・資源向上及び長寿命化の取組みを実施し、用排水の機能向上を図った。
	② 環境保全型農業の普及促進	<ul style="list-style-type: none"> ●希望者を対象にスマート農業の先進地視察を8月に実施した（参加者10人）。 ●堆肥の散布により、継続して環境保全型農業に取り組む団体の活動の支援を実施した。 ●桑原用水東幹線の用水路のパイプライン化工事（延長95m）を施行し、水質改善を図った。
	③ 身近な水辺環境の保全・維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ●木曾川・長良川の堤外施設の指定管理者による維持管理（清掃作業やせん定・除草作業）を実施し、水辺の保全に努めた。 ●境川・桑原川の維持管理（清掃作業やせん定・除草作業）を実施し、水辺の保全に努めた。
地産地消の推進	① 地産地消の普及促進	●羽島市食の地産地消計画が令和3年度で計画期間が終了となるため、第2期計画の策定を実施した。
	② 学校給食での地元産品の積極的利用	●羽島市産の給食の日として、学校給食にブロッコリーの提供を実施した。
河川環境の保全	① 河川環境の保全・維持管理	●河川の調査、環境教育等に取り組んでいるNPO法人長良川環境レンジャー協会が実施した境川の水質調査等に参加し、河川調査、環境教育を実施した（参加者11名）。
	② 河川清掃の実施	●木曾川・長良川及び境川の河川敷や堤防の一斉清掃は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

基本方針4.2	生物多様性の保全	
施策	主な取組み	実施した主な内容
貴重な生き物・身近な生き物の保護	① 貴重な生き物（イタセンパラ等）・身近な生き物の保護	<ul style="list-style-type: none"> ●イタセンパラサポーター募集チラシの配布、イベントや飼育展示実施学校への啓発等によりサポーターを募集した。 ●12月に中島小学校にて国土交通省、環境省協力のもとイタセンパラ塾を開催した（参加者32人）。
鳥獣害への対応	① 特定外来生物の防除	●特定外来生物に対する注意喚起を行い、個人捕獲希望者に箱わなの貸し出しを実施した（捕獲許可件数アライグマ61件・ヌートリア29件）。
	② 有害鳥獣による被害状況の把握と対策の実施	●猟友会によるカラス等の猟銃捕獲やヌートリアの団体捕獲を実施した（捕獲実績アライグマ30頭・ヌートリア35頭・カラス18羽（卵70個）・その他鳥獣25頭（羽））。

目標指標	現状値 (2019年度)	報告値 (2022.3.31現在)	目標値 (2025年度)
担い手への農地集積率	35%	40.2%	78%以上
GAP認証取得経営体数	1経営体	0経営体	2経営体以上
市特産品目数	3品	3品	5品以上
羽島市イタセンパラサポーター数	168人	222人（新規） 347人（3年度未登録者）	185人以上

羽島市環境基本計画進捗状況（令和4年3月31日現在）

基本目標5	脱炭素社会の実現 － 環境に負担の少ない暮らしを実践するまち －
-------	-------------------------------------

基本方針5.1	地球温暖化対策の推進	
施策	主な取組み	実施した主な内容
地球温暖化に配慮した市民生活の普及	① 節電・節水の普及・啓発	●環境省からの啓発ポスターを市役所庁舎内に掲示し、普及に努めた。
	② 省エネルギーの普及・啓発	●岐阜県からの啓発ポスターを市役所庁舎内に掲示し、普及に努めた。 ●再生可能エネルギー由来の電気をグループ購入するEE電（いいでん）について広報はしま2月号で周知するとともに、岐阜県作成の周知チラシを自治会に回覧した。
行政が取り組む地球温暖化対策	① 羽島市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の推進	●羽島市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を3月末に見直した。 ●羽島市環境管理マニュアルに基づき、4部署において内部環境監査を実施するとともに、全職員を対象にした環境配慮行動アンケートを行い、「羽島市環境管理システム」の推進に努めた。 ●ノー残業デーの徹底や昼休みの消灯、OA機器の電源をこまめに切る等、節電に努めることで、電気使用量の削減を図った。 ●令和3年度から試行的に年間を通じてノーネクタイの運用を実施する等、クールビズ、ウォームビズの推進に努めた。 ●物品を購入する際はグリーン購入法に該当する商品購入に努めた。
	② 羽島市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定	●脱炭素社会の実現に向け、羽島市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を3月末に策定した。

基本方針5.2	再生可能エネルギーの普及	
施策	主な取組み	実施した主な内容
再生可能エネルギーの利用推進	① 公共施設への再生可能エネルギーシステムの推進	●11月開庁の新庁舎において地中熱を利用した空調設備を導入した。

基本方針5.3	省資源・省エネルギーの推進	
施策	主な取組み	実施した主な内容
自動車の燃料消費の削減	① 環境にやさしい運転（エコドライブ）の普及促進	● 公用車を運転する際は、急発進・急加速をせず、不要な荷物は積まない等、エコドライブの実践に取り組んだ。
	② ハイブリッドカー・低燃費車等の導入促進	● 公用車で出張する際は、できる限りハイブリッドカーや低燃費車を使用するようにし、燃料消費の削減に努めた。
公共交通機関利用の促進	① 公共交通手段の確保とコミュニティバスの安定運営	● コミュニティバスの運行により広域的な公共交通網を確保した。 ● 高齢者の免許返納支援、高校生通学定期券補助、名阪近鉄バス乗継券等のコミュニティバス利用促進を実施した。

目標指標	現状値 (2019年度)	報告値 (2022. 3. 31現在)	目標値 (2025年度)
温室効果ガス (CO ₂) 排出量 (羽島市施設)	10,781t-CO ₂	10,340t-CO ₂	現状値対比 5%以上の削減
公用車のガソリン使用量 (消防・上下水道部を除く)	ガソリン : 31,395L 軽油 : 3,808L	ガソリン : 23,403L 軽油 : 2,921L	現状値対比 5%以上の削減
コミュニティバスの年間乗車人数	101,343人 (2018年10月～ 2019年9月)	73,080人 (2020年10月～ 2021年9月)	102,000人以上 (2024年10月～ 2025年9月)